平成 26 年 12 月 24 日　　　　　　　　　　　　　　　　　　No28 号

保険証一枚ではり･きゅう･マッサージを受けたい

医療を考える会　会報

発行元:NPO 法人　医療を考える会
住所　渋谷区代々木 2－39－7 メゾン代々木 201 号
TEL　03－3375-6151 / FAX　03－3299－5275
メールアドレス　iryo-kangaeru@waltz.ocn.ne.jp
HP　http://npo-iryo.org/

前向きに歩き続けましょう

NPO 法人医療を考える会総会報告　　　　　　　　　　理事　田中榮子

NPO 法人医療を考える会第 10 回総会が 11 月 16 日千駄ヶ谷社会教育館で行われました。

山口充子氏の司会により、瀬川信幸氏、鳥海健二氏を議長に選出し、山西俊夫副理事長より平成 25 年度活動報告及び平成 26 年度活動計画の提案がなされ、山西力会計担当者より平成 25 年度会計報告および平成 26 年度予算案が提起され承認されました。

役員選挙では、理事に岩下幸卯、木幡久美子、久下勝通、瀬川信幸、武井百代、高橋養藏、田中榮子、平田啓、山口充子、山西俊夫が選出され、監事には鳥海健二が選出されました。

会創立より会の活動の先頭に立ってこられた理事長の相葉計佳氏、および監事の松原幸靖氏は、体調不良のため退任されました。長年に渡る熱心な活動、ありがとうございました。

お二人には会の顧問として、今後ともできる範囲でのご協力をお願いすることになりました。

選出された役員で会議を行い、山西俊夫氏を理事長に選出し、理事長より、今までの成果を踏まえて 100 万人署名を広げ、患者の視点に立った健康保険制度をめざし、東洋医療の普及活動を継続していきたいとの挨拶がありました。

「東洋医療にかかりたい人は、健康保険で気兼ねなくかかれるような制度へ」私たちの目標は道理にあったことです。確信を持って目標の実現を目指してすすみましょう。

理事役割分担につき１２月 14 日理事会で確認されました。
平成２６年度の理事役割分担は下記のとおりとなります。

理事長	山西　俊夫	副理事長	田中　榮子、山口　充子
事務局	山口　充子		
広報	平田　啓、山西　俊夫、久下　勝通	組織	高橋　養藏、田中　榮子
企画	瀬川　信幸、武井　百代	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	岩下　幸卯、木幡　久美子
監事	鳥海　健二		

ごあいさつ

患者の権利と意志を国にぶつけていく

理事長　　山西　俊夫

11 月 16 日に開催された第 10 回「NPO 医療を考える会」定期総会におきまして理事長を拝命しました山西です。

10 年もの長期に渡って当会の理事長を務めてこられました尊敬する相葉計佳先生の後を引き継がせていただくことになりました。先生も今年八十二才になられます。本当に長い間ご苦労様でした。今後は当会の顧問として私たちの活動のアドバイザー役をお願いすることになりました。

一患者の立場の私が会の理事長を務めることは身の引き締まる思いがしますが、私たちの運動を地域から全国へ広め、東洋医療に健康保険を適用させる声を国に認めさせるためには、患者自ら運動の先頭に立って患者の権利と意志を国にぶつけていく必要性を考えると、意味のあることではないかと考えております。

皆様のご指導を賜りながら会の発展に努めたいと思いますのでよろしくお願い致します。

私が東洋医療を初めて受療したのは二十九年前ですが、今では筋金入りの患者と自負しています。薬に偏重気味な西洋医療と異なり、人間がもつ自然治癒力を引き出す人間が主人公と考える東洋医療に魅せられました。

患者にとっては両者の良い面を補完し合う統合治療の早期実現が望ましいと考えます。

要は切磋琢磨し合えばよいのです。

高齢化社会を迎えた現在、未病を治す予防医療として東洋医療の役割は益々大きくなっています。反面、保険医の同意書発行拒否を始め鍼灸マッサージ治療の健康保険適用を阻害する事例が多々発生しています。

特に高齢者に不自由な生活を強いる不条理な社会に変容させる危険性の高い硬直した医療行政に強い憤りと懸念を感じます。

この受療制限の撤廃を実現させるため、当会は(社)鍼灸・マッサージ師会と共に一昨年全国組織をめざす「健康保険ではり・きゅう・マッサージを受ける国民の会」（事務局兵庫県西宮市）の団体会員になり、百万人署名運動の全国展開をスタートさせました。

当会の今年度（H25 年 11 月～H26 年 10 月）の活動計画が 11 月の定期総会で承認されましたが、その内容は下記に集約されます。

1．会員相互の親睦、学習会を通じ東洋医療への理解を拡げます。
2．他団体、地域との交流・連携を深め、東洋医療への理解を深める運動を継続します。
3．国民の会と呼応し百万人署名の全国的な運動の展開をめざします。

当会の現状を顧みた時、私たちは地道な活動を通じて会員を増やし会の足腰をもっと強くしていく必要があります。

会員の皆様におかれましてはご多忙で時間の制約がおありかと思われますが、会の活動に参加することで初めて運動が前進します。その意味で会員一人が新たに一人の新会員を獲得することを目指そうではありませんか。是非ご協力をお願い申し上げます。

平成 26 年度活動計画

H25 年度は関東と関西の仲間が「国民の会」に合流、月 1 回の京都での集まりを通じて運動の全国化の端緒が開けた年でした。今年度も百万人署名運動を拡大するために他団体への協力をよびかけて参ります。

関東支部を築きます。関西の仲間と呼応して立法府への請願活動を計り、東洋医療への健康保険適用実現をめざします。同時に患者の視点に立ち、行政の東洋医療内部に対する格差を糺す運動を展開します。会員相互の親睦、他団体および地域との交流を継続します。

1．会員相互の親睦、学習会を通じ東洋医療への理解を拡げます。

　定期総会　平成 27 年 11 月　1 回　平成 27 年 11/16(日)　または　11/30(日)　予定

　理事会　隔月　6 回　会報　発行　3 回

　講演会　1 回　レクリエーション　1 回

2．他団体、地域との交流・連携を深め、東洋医療への理解を深める運動を継続します。

　千駄ヶ谷社教館祭りへの参加　平成 27 年 2 月　民医連、各党議員団、他　随意

3．国民の会と呼応し百万人署名運動の全国的な運動展開をめざします。

署名活動は希望実現への道

みな様ご存知のように昨年 6 月より「はり・きゅう・あん摩・マッサージ健康保険適用の拡大と改善を求める」署名をすすめています。皆様のご努力で署名は 20144 筆になったことが「健康保険ではり・きゅう・マッサージを受ける国民の会」副会長の高橋養藏氏より報告されております。

10 月 17 日には高橋養藏、山口充子、木幡久美子、田中榮子の 4 名で「労災職業病全国センター」へ出向きました。このセンターは「働くものの命と健康を守る全国センター」の中にあります。

30 年余り前に、全国の働く人たちに労働災害治療、職業病が多発し、多くの労働者が鍼灸治療、マッサージ治療をたより治療を受けていました。ところが、1982 年突然に、労働省が「375 通知」を出し、2000 人余りの病人の鍼灸マッサージ治療は打ち切られました。

この打ち切りは違法であり、打ち切りは認めないという、全国的な運動がおこったいきさつがあります。　当日「全国センター」担当者に、現在も東洋医療の差別が続いていることをお話ししました。全国センターは署名をこころよく引き受けて下さいました。

戦後 70 年たったというのに「かかりたい医療、東洋医療にも気兼ねなくかかれない」この不条理。西洋医療でも東洋医療でも自分が選ぶ医療にかかれたら、どんなに安心できることでしょう。

私たちのまわりの人々にも、この実態を理解していただき、署名を広げていく人を増やしていくとは、いうまでもなく目標の実現に近づいていくことです。みな様、インフルエンザなどに用心して、希望をもってすすんでいきましょう。　（　田中　榮子　）

野外パーティーで

署名行動とボランティア治療

11 月 23 日(日)10 時から 15 時、南武線稲田堤駅から徒歩 10 分の多摩川沿いにある稲田公園で開催された「野外パーティ」に昨年に続いて(社)「鍼灸マッサージ師会」と共に参加しました。

当日は晴天に恵まれて、歌と音楽の催し、餅つき、多種にわたる展示即売が催されて公園内の会場は活況でした。私たちのボランティア治療にも多くの方々がマッサージ治療を受けられ 26 名に達しました。昨年の倍以上の 12 名の施術者が参加して下さりありがとうございました。また、署名活動も 117 筆に達し、昨年を大幅に上回ることができました。大変ごくろうさまでした。

晴天の良い日でしたが、11 月も後半でしたので日陰の場所は少し寒かったです。

もう少し日当たりのいい場所が治療を受けにはよかったかなと思いました。午前中は治療をうける方が少なかったので、午前中でお帰りなる方に施術をお願いしましたので、私は主に午後施術を行いました。

この野外マッサージには清水鏡晴先生のご紹介で、以前にも 2 回ほど参加したことがありました。NPO 法人医療を考える会や一般社団法人鍼灸マッサージ師会のみな様とご一緒させていただいたのは初めてでした。多くの先生の参加があって心強かったです。

署名活動とマッサージの治療を多くの方々に、知ってもらい、また、体験してもらいよかったと思います。これからもこのようなチャンスがあれば参加したいと思っています。

（石井　美和子）

今まで勤めていた治療院を退職し、個人としてスタートするに当たり（社）鍼灸マッサージ師会に問い合わせたところ、今回のボランティア活動を紹介され参加させていただく事になりました。

参加された鍼灸マッサージの先生や NPO 法人医療を考える会の方々からいろいろお話しを伺い、実際の施術も見せていただきました。よい経験をさせていただき参考にさせていただきました。ありがとうございました。

来年度から、（社）鍼灸マッサージ師会へ入会させていただきます。これからお世話になると思います。よろしくお願いいたします。　（清水　昭）

医療と介護はどう変えられようとしているのか

11 月 16 日 NPO 法人医療を考える会総会における、代々木病院、畑中大吾ケアマネジャーによる講演の要旨について報告致します。（田中榮子）

（畑中大吾氏）

自立自助で医療も介護も削減

政府は、社会保障制度国民会議を 2012 年 8 月に設置した。この骨子は、「自助、自立」を土台に据えた、公的給付の削減であり、実施責任は、地方自治体とした。

2014 年 6 月、「医療介護総合法」を、国民にはからず、国会で成立させた。高度急性期から在宅医療介護までの一連のサービスを、地域において、総合的に確保することで、地域における適切な医療介護サービス体制を実現していくとしている。消費税増税分を活用した新たな財政支援制度、基金を設置していく。2025 年団塊の世代に向け、入院日数短縮、ベッド数削減、地域包括ケア体制の整備として、見取りを含め、在宅医療を抱えた診療所等の機能強化、在宅医療の充実等を述べている。「入院から在宅へ」「医療から介護へ」「介護から市場・ボランティアへ」自助・自立を土台に中学校単位で行っていく。

政府は介護保険をどう変えようとしているか

① 予防給付の見直し。要支援１、2 はサービスの一部を来年より介護保険給付からはずす。総合事業―地域支援事業、ボランティアの利用、営利企業の活用などを多くしていく。新しい介護予防は、チェックリストを厳しく判断して使いにくくしていく。

② 特養の重点化―特養への入所を原則、要介護３以上に限定していく。待機者現在 52 万人であり、１～３年の待機者が多いが亡くなっていく例が多い。

③ 一定以上の所得者の利用料の見直しにより利用料の 2 割負担に引き上げを行う。

④ 捕捉給付の要件を厳格化し、対象者を減らしていく。

⑤ 介護保険職場労働条件。介護保険職場の離職率は高い。体力的、精神的にきつい仕事であるが賃金は他の職種より低く改善の見通しはない。

⑥ 認知症について。現在認知症の方は 462 万人といわれる。増加していく予測の中抜本的対策が必要になっている。

求められる介護事業の改善方向

① 医療と介護の連携が大切。② 認知症を含めた地域包括ケアの構築。

③ 地域支援事業の自治体による格差が生じないような国の財政的支援。

④ 特別養護老人ホームの増設。 ⑤ 介護事業の人材の確保、待遇改善。

⑦ 年を重ねても安心して暮らせる社会保障。

（講演をうかがった後の質疑、懇談で出された感想、意見）

○政府のやろうとしていることは、一生懸命働いてきた高齢者に冷たい、人権の軽視のやり方だ。だれでもできるところで、できるやり方で声を上げよう。○「シルバーホットステーション」をつくった話。「認知症カフェ」あちこちにできてきたが、なにが出来るか考えよ

う。〇日本人はとかく遠慮して「長い物には巻かれろ」になってきた。一人ひとり気が付いたところから意見を出し合い、改善の動きを作り出していこう。

アメリカの医療保険

ＮＨＫラジオのなかで堤未果さんの「沈みゆく大国アメリカ」の本のことを耳にしてすぐに購入しました。

アメリカの医療の深刻な現状に驚きました。アメリカは、世界で一番の医療費の高い国です。医薬品、医療費に政府の規制がないため、医療費や医療保険が高騰を続けています。オバマ大統領の弱者救済のオバマケアも、製薬会社や保険会社が低所得者から、不当な収益を引き出す手段になっており、オバマ大統領への不信も広がり始めているようです。

政府の医療費削減、混合診療導入、そして企業活動のための規制緩和は、日本の健康保険制度を破壊し、アメリカ同様に医療を保険や製薬企業の制限のない収益獲得の場に道を開くことになります。

「はり・きゅう・あん摩・マッサージ健康保険適用の拡大と改善を求める請願書」100 万署名運動は、これと反対に医療は健康保険で受けられるように皆保険制度をまもる運動です。どの国より政治も経済も日本との交流が盛んなアメリカですが、大切なことは知らされていないと思いました。企業が医療を自由にする深刻な弊害を知っておく必要があります。「沈みゆく大国アメリカ」を読んで下さい。　　　（理事　高橋　養藏）

堤未果著作　沈みゆく大国アメリカ（集英社特設サイトより）

史上最強の超大国をもゲーム上のコマとしてしまう「1%の超・富裕層」は、これまでに、石油、農業、食、教育、金融の領域で、巨万の富を蓄積してきた。恐るべきことに、彼らの次のターゲットは、人類の生存と幸福に直結する「医療」の分野だった。 米国の医療費は総額 2.8 兆ドル（200 兆円）。製薬会社と保険会社、そしてウォール街が結託する「医産複合体」は、病気を抱えるもっとも弱い立場の人々をカモに、日々、天文学的な収益を上げつづけている。

「がん治療薬は自己負担、安楽死薬なら保険適用」「自己破産理由のトップは医療費」「夢から覚めたら保険料が二倍に」「一粒 10 万円の薬」「高齢者医療費は三分の一にカット」「自殺率トップは医師」「手厚く治療すると罰金、やらずに死ねば遺族から訴訟」「安い早い！　ウォルマートがあなたの主治医になります」

これらはフィクションではない、これは超大国で進行中の現実の事態なのだ。そして、その巨大な波は、太平洋を越えて日本に達しようとしている——！！稀代のアメリカ・ウォッチャーである著者が、完全崩壊した米国医療の

実態とその背景を入念な取材により炙り出した、渾身のノンフィクション！

NPO 医療を考える会

健康体操と家庭でできる

温灸治療のつどい

高齢者の体操教室がさかんになり施設に通う方も増えているようです
高齢に伴い膝痛・腰痛　肩の凝り・風邪を引き易く出歩くのがおっくうになり閉じこもり気味の方・等々、医者に行っても痛み止めの薬や、電気を充てるなど根本的には治りません。

こうした悩みや不安に、各自が持っている自然治癒力をたかめ未病を治す東洋医療から、日々の暮らしを少しでも楽にできる方法を学び、日常生活に取り入れられるようにする場を計画しました。

寒さに負けない体に健康体操のつどいで始めましょう
今回、老人ホームや寝たきりの方々に体操の指導やマッサージをし、大変お忙しいなか NPO 医療を考える会の理事でもある瀬川信幸先生に来ていただきご指導を受けることにしました。
一人では継続するのが困難です。続けるために定期的に集まりおしゃべりしながら楽しいひとときを過ごせる場にしていきましょう。

日時　平成 27 年１月１１日（日）１０時～１２時
会場　狛江市上和泉地域センター２Ｆ和室
参加費　￥５００
連絡先　山口（TEL）０９０-１４３５-３７１５

千駄ヶ谷社会教育館まつり

平成 27 年 2 月 15 日（日）10 時～16 時 30 分

健康保険制度改善についても理解を得る、地域住民との交流の場です。
マッサージのボランティア施術と署名活動を行います。各自都合のつく時間を参加可能の方は事務局の方に連絡お願いします。〔山口充子）

ホームページができました

健康保険ではり・きゅう・マッサージを受ける国民の会は・・・

健康保険で「いつでも・どこでも・だれでも・安心して」、「はり」「きゅう」「マッサージ」が受診できることを目指します。

活動内容

- 国民の当然の権利として、健康保険でいつでもだれでも安心して「はり・きゅう治療」及び「あん摩・マッサージ・指圧治療」を受療できることをめざすため、100 万人署名活動。
- 署名活動を周知するため、機関紙を発行しホームページの更新。
- 鍼灸マッサージに関する啓蒙をおこなうため、不定期に勉強会をおこなう。

ついにHPアップロード完了です。http://kokuminkai.web.fc2.com/

ご確認下さい。ご活用、よろしくお願いします

健康保険ではり・きゅう・マッサージを受ける国民の会事務局　さかた

署名は 12 月 18 日現在２０，７６７名である。秋田県横手市 190 名の署名が送付されるなど広がりもでてきた。

京都では民主党、自民党、共産党へ運動協力の申し入れを予定している。

「健康保険ではり・きゅう・マッサージを受ける会」ホームページが完成した。

（高橋養蔵）